

今月は雨のため中止となりました。職員のみで予定していたコースをまわり、観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回9月のてがたんは9月11日(土)で、テーマは「生きものたちの『護身術』」です。ぜひご参加ください。9月1日の8時30分から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は9月5日(日)です。

8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時と天気：2021年8月14日(土) 10:00~11:00 雨
- 鳥博職員：1名(望月みずき)

観察した生き物の記録

「*」は、下見だけで見られたもの。

【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/クイナ科：オオバン/キツツキ科：コゲラ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス(声)/エナガ科：エナガ(声)/メジロ科：メジロ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ 家禽や外来種：ドバト(ハト科)

【昆虫】トンボ目：アオモンイトトンボ、コシアキトンボ/カメムシ目：キマダラカメムシ、ミンミンゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ/チョウ目：アカボシゴマダラ(幼虫・成虫)、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、モンキチョウ、ヤマトシジミ/カマキリ目：ハラビロカマキリ/ハチ目：モンズメバチ

【クモ】ナガコガネグモ、コガネグモ、ギンメッキゴミグモ、ゴミグモ、クサグモ

【カタツムリ類】ミスジマイマイ*、ナメクジ

【植物(花)】ツユクサ科：ツユクサ/メギ科：ナンテン/ブドウ科：ヤブガラシ/ミソハギ科：サルスベリ/アカバナ科：ユウゲショウ/マメ科：ヤマハギ/カタバミ科：カタバミ/アカネ科：ヘクソカズラ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ/オオバコ科：ヘラオオバコ/クマツヅラ科：シチヘンゲ/ナス科：ワルナスビ/キク科：ブタナ、オニノゲシ、セイヨウタンポポ

【植物(実)】アサ科：エノキ/モクセイ科：トウネズミモチ/メギ科：ナンテン

8月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「てがたん樹木検定・夏編」でした。雨のため中止となってしまいましたが、植物の葉をじっくり観察することで身近に生えている植物を見分けてみようという内容を予定していました。甘い香りのする葉やゴワゴワした触り心地の葉など、五感を使ってそれぞれの葉の違いを知ることができます。手賀沼には様々な植物が生えているので、パンフレットを参考に手賀沼周辺の葉っぱ観察を楽しんでみてください。



①朝から昼に花を咲かせるツククサ



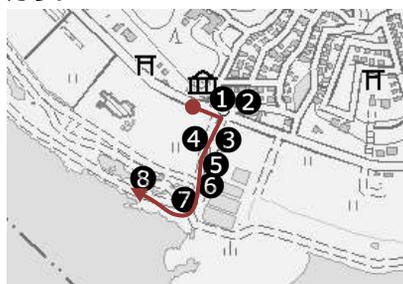
②5つの小葉で1枚の葉を構成するヤブガラシ



③アカメガシワの新芽は赤みを帯びる



④アカボシゴマダラの幼虫



歩いたルートと観察した生き物



⑤外来種のキマダラカメムシ



⑥有毒植物のキョウチクトウ



⑦地面で水を飲むアオスジアゲハ



⑧まだ青いナンテンの実。冬に赤く熟すと鳥たちが食べにやってきます。

今月の鳥 スズメ (スズメ目スズメ科)

スズメといえばコメを食べたり、草の実を食べるイメージが一般的かもしれませんが。秋から冬にかけては植物の種子をよく食べますが、夏は昆虫などの動物性の物を食べることが知られており、季節によって食べるものが変わります。また近年、種子など硬いものを食べる秋冬は夏に比べて砂や小石を多く食べることが明らかになりました。砂や小石を食べることで、筋胃と呼ばれる胃で草の実をすりつぶしやすくなります。また、春先には桜の花の蜜を吸うこともあります。スズメの嘴は太く短いため、メジロのように嘴を花の中に入れて吸うことは難しいですが、花を根元からちぎることで蜜を吸っています。手賀沼では一年中見られるスズメですが、季節ごとに何を食べているか観察するのも一つの楽しみ方です。



ハラビロカマキリを捕らえて食べるスズメ。